

耕人塾6期生 市長に報告

川開き祭りの ゴミ拾い活動 感謝の言葉にやりがい

石巻地方の中高生が人間力を育む第6期「耕人塾」(塾長・木村民雄石巻専修大学人間学部教授)の代表塾生3人が先日、石巻市役所を訪れた。今夏の石巻川開き祭りで地元団体や行政の協力を得て展開したゴミ拾い活動について亀山紘市長に報告した。

同塾は平成24年度に同大学や小中学校教諭らで開講。5年間で延べ100人以上の修了生を輩出し、本年度も第6期生35人が「世界に誇れる石巻地域にしよう」をテーマに活動



川開き祭りでの活動を亀山市長に報告した代表塾生たち

している。ゴミ拾い活動は、同塾の実践活動「プロジェクトK」のメインとして石巻川開き祭り

リーダーの会とNPO法人いしのまき環境ネット、市生活環境部廃棄物対策課とともに「川開き祭りゴミ・ステ・ボランティア」を形成してきた。

市長への報告には同塾指導委員長の平塚真一郎青葉中教頭、同塾運営委員長の横江信一釜小校長、同リーダーの会の小野眞理さんのほか、活動当日に自作のゴミ箱を担いで美化を呼び掛けた生平愛依さん(桜坂高2年)、千葉こはるさん(青葉中3年)、鈴木観大さん(渡波中3年)が出席した。

亀山市長は「皆さんの意識と活動に感謝したい。ゴミ箱を設置して待つのではなく、背負って移動するという発想に感心した。ゴミのないまちづくりへとも頑張りましょう」と話した。

塾やプロジェクトの説明の後、塾生が「活動中の昼間はゴミが少なかったが、夜に増加